

平成20年8月7日

各 位

上場会社名 株式会社 宮入パルプ製作所
 代表者 代表取締役社長 高井 洋
 (コード番号 6495)
 問合せ先責任者 取締役総務部長 佐野 邦男
 (TEL 03-3535-5575)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月23日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,500	58	38	18	0.43
今回発表予想(B)	2,250	60	50	△390	△8.15
増減額(B-A)	△250	2	12	△408	――
増減率(%)	10.0	3.4	31.5	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	2,804	26	△95	△130	△5.31

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,600	200	150	100	2.39
今回発表予想(B)	5,300	250	220	△225	△4.70
増減額(B-A)	△300	50	70	△325	――
増減率(%)	△5.3	25.0	46.6	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	5,079	△192	△479	△561	△19.80

修正の理由

第1四半期につきましては、主力製品であります液化石油ガス容器用弁の需要の回復が予想以上に遅延傾向で推移したことにより、売上高は計画を下回る結果となりましたが、収益面につきましては、引き続き原材料価格は高値で推移しているものの、販売価格への転嫁が徐々に浸透してきており、前期から実施しております生産効率の向上施策、徹底した経費抑制等による製造原価低減施策の成果と相俟って収益性は向上いたしました。

しかしながら、保有投資有価証券の株価下落により、特別損失に投資有価証券評価損418百万円を計上したことから四半期純損失となりました。

第2四半期累計期間につきましては、業績向上に向けた各種施策を継続して施していく所存ではありますが、主力製品の需要回復が第2四半期以降と見込まれることから、第2四半期累計期間の売上高は前回発表予想を下回る見込みであります。

営業利益、経常利益は、収益性の向上により前回発表予想を上回りますが、四半期純利益は前回発表予想を下回る見込みであります。

また、通期につきましても、売上高は前回予想を若干下回る見込みではありますが、営業利益、経常利益は前回発表予想を上回るものの、当期純利益は、第1四半期の特別損失(投資有価証券評価損)の計上が影響し、前回発表予想を下回る見込みであります。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なることがあります。

以 上